

◆ 主 題 名
(生徒に提示するもの)

よりよい社会を築き上げるために

内容項目	見出し	教材名
C - 12	社会参画・公共の精神	自分・相手・周りの人
価値項目		
1・2・3・4 ①社会参画の意識と社会連帯の自覚を高める。②公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める。		
本時のねらい		
公共の場での心構えを理解し、よりよい社会実現のために自ら参加しようとする前向きな態度を育てる。		
主題発問に向かうための導入・場面発問		
導入	発問	資料を読む。
	補助発問	妊産婦と周囲の人の気持ちを踏まえながら、考えさせていく。
場面①	発問	どんな気持ちからマタニティマークをつけているのだろう。
	補助発問	妊産婦の立場での気持ちはどのようなものだろう。
場面②	発問	マタニティマークをつけている人の以外の周囲の人の気持ちはどうだろう。
	補助発問	アンケートに掲載されている「嫌な顔をされた」という回答についてどう思うだろう。
場面③	発問	他にどのようなマークがあると良いと思うだろう。
	補助発問	こんなマークがあったらいいと思うマークを発明しよう。→これらに共通する「思い」は何だろう

L
i
n
k

◆ 主 題 発 問

このようなマークがなくても良い社会ってどんなものだろう？

◆ 学 び 合 い 活 動

場面発問①

場面発問②

場面発問③

主題発問

個 ⇨ (ペア ・ グループ ・ フリー) ⇨ 個

留意点等

社会の中で共存共栄していくためには、子供から高齢者まで含むすべてのものが幸福に過ごす権利があると考えられる。そのためには、私たち自身が、さまざまな人々の摩擦によって生じる弊害を解決し、よりよい社会を築き上げる必要がある。生徒には、将来様々な課題に直面する問題を考え、配慮して支えあう気持ちが大切になる。障害者や高齢者以外の人々にとってもその課題を乗り越えていく心構え・気持ちを養ってほしい。これから学校現場における公共での場所としてのそれぞれの立場での考え方を理解し、より活動しやすい安心・安全な居場所づくりを目指していく大切さも必要である。